

5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連  (東海)		その他専門店〔雑貨〕 (店長)	・リニア新幹線の開業まで、関連企業の作業員や話題性による人出や店舗等の急増で、昼間の流入人口が増える。
		商店街(代表者)	・客には購買意欲がうかがえる。米国の次期大統領選挙の結果もプラスとなり、景気は良くなる。
		商店街(代表者)	・米国の次期大統領が決まり、景気はますます良くなる。
		一般小売店〔結納品〕 (経営者)	・今のままでは大変なので、年が明けて春が近づけば多少は良くなる。
		一般小売店〔土産〕 (経営者)	・引き続き伊勢志摩サミットの効果が続く。
		一般小売店〔書店〕 (経営者)	・米国の次期大統領が決まり世の中が少し変わってくる。世の中のムードに変化が生じれば、消費にも動きが出る。
		百貨店(経理担当)	・株価も上がってきているので、今後は期待できる。
		百貨店(経営企画担当)	・インバウンドの下落もそろそろ落ち着く時期と見込まれ、ボーナスの増加や株高を背景に、高額商品需要にも期待が持てる。
		百貨店(計画担当)	・富裕層の買物では、単価の高い商品に動きが出始めている。
		スーパー(経営者)	・野菜の価格が安定すれば、消費も回復する。
		スーパー(店員)	・年末に向けて、カズノコや牛肉等、単価の高い商品がふだんよりも売れる。みかん等の箱買いも期待できる。
		コンビニ(企画担当)	・配偶者控除が拡大するので、収入の増加が消費の増加につながる。
		コンビニ(エリア担当)	・夕方から夜の品ぞろえを強化し、販促キャンペーンを継続することで改善が期待できる。
		家電量販店(店員)	・住宅エコポイントも始まるので、リフォーム事業にも期待が持てる。
		乗用車販売店(経営者)	・年明けから3月決算にかけて、商品の動きは良くなる。
		乗用車販売店(従業員)	・今月は悪かったが、問い合わせ件数は増えている。客の求める車種の幅が広がってきており、潜在的な需要が見受けられる。
		その他専門店〔貴金属〕(営業担当)	・これから年末に向けて、自分へのご褒美等の買物が増える。金価格も上がってきており、関心度も高まっている。
		高級レストラン(役員)	・忘新年会の予約状況が前年同月比でプラスとなっている。客単価は下落傾向にあるが、来客数の増加がそれを上回る勢いである。
		一般レストラン〔パン・カフェ〕(経営者)	・これから春にかけては、年間でも最も売上が伸びる時期となる。
		一般レストラン(経営者)	・11月後半からは小規模だが宴会が増えている。12～1月には、大人数の宴会の問い合わせが増えてきている。
	その他飲食〔仕出し〕(経営者)	・米国の次期大統領の就任により、動きが出始めて変わる。	
	その他飲食〔ワイン輸入〕(経営企画担当)	・円安、株高の話題が報道されると、実際の賃金は増えなくても、消費者心理には良い影響を与える。	
	旅行代理店(従業員)	・冬場はオフシーズンであるが、景気が悪いと見合わせる忘・新年会等のイベントを、例年どおり実施する企業や団体が多い。災害や荒天等の不測の出来事が起こらない限り、しばらくは好調が続く。米国の大統領交代に伴う影響は、今のところない。	
	ゴルフ場(企画担当)	・1～2月は寒くなる時期であるが、1月の予約数は前年同月比では悪くない。ここ2か月は景気が少し悪くなっていると感じていたが、先行きは少し良くなる。	
	その他サービス〔介護サービス〕(職員)	・施設経営の規模拡大で、人手不足により人件費は上昇傾向にある。従業者としては所得が増え、わずかではあるが娯楽等への消費拡大もみられる。	
	商店街(代表者)	・必要以外の品物や自家用の商品が伸びていない。ついで購入による売上の伸びがないため、厳しい状況が続く。	
	商店街(代表者)	・現政権では、景気が良くなる要素は全くない。大企業の内部留保をもっと外部に流すような仕組みにしないと、景気の回復は不可能である。	
	商店街(代表者)	・家電製品は、故障による買換えはあるが、新商品による需要拡大はあまり期待できない。	
	商店街(代表者)	・客単価が低い状態が当面は続く。	
	一般小売店〔土産〕(経営者)	・春には全国菓子博があり出店で忙しくなるが、景気としては好調のまま横ばいで、足元よりも更に良くなるという見込みはない。	

一般小売店〔生花〕 (経営者)	・安い品物を求める客が多い風潮がまだ続く。年金支給額も下がり、先々が不安だという声も聞く。
一般小売店〔薬局〕 (経営者)	・問題は当地方の景気の悪さに尽きる。店としては年末年始に向けて様々な施策を講じて、少しでも売上増加を目指す。
一般小売店〔贈答品〕 (経営者)	・客は相手先を絞り堅実な付き合いをしている。あまり幅を広げるような動きはない。引き続き少しマイナス傾向が続く、3か月先も現状とあまり変わらない。
一般小売店〔果物〕 (店員)	・3か月ほどでは足元の状況から変わらない。
一般小売店〔和菓子〕 (企画担当)	・先行きが不透明すぎて、どうなるか見通しが立たない。
百貨店(企画担当)	・11月中旬以降は気温も下がり、衣料品を中心に売上は前年同月を上回るが、前年の落ち込みが大きかった反動であって、景気が良くなっているとはいえない。円安、株高であるが、先行きの不透明感からか、高額商品の動きには好転がみられない。
百貨店(経理担当)	・米国の大統領選挙後の株高、円安は、景気にとっては好材料であるが一時的であり、長続きするとは思わない。
百貨店(販売担当)	・販促施策の実施により多少は変動するが、2～3か月先にも大きく悪化するような要素はない。
百貨店(販売担当)	・米国の大統領交代に伴う影響が見通せないため、当面は様子見が続く。
スーパー(経営者)	・先行きは、米国の次期大統領の施策によってドルは強くなり、我が国では円安になる。為替の変動で輸入品の価格が上がり、消費は伸びない。時間給は、人手不足等の影響でやや上昇する。
スーパー(店長)	・野菜の価格は徐々に落ち着くが、まだまだ高値での推移が続く。米国の景気は、我が国の景気を大きく左右するが、大統領の交代に伴ってどのように変わるか、非常に不透明である。
スーパー(店長)	・客の所得が増える要因はなく、金を使おうとする雰囲気は感じられない。
スーパー(店員)	・販売量が伸びず客単価も低い、厳しい状況がずっと続く。
スーパー(販売促進担当)	・近年は客層が変わり、高齢層の客が多く、若年のファミリー層には支持されなくなってきている。
スーパー(支店長)	・明るい話題や政策がなく、現状維持が精一杯である。
スーパー(販売担当)	・同じビル内にドラッグストアが開店した効果で足元は良いが、上向きとなるのは2～3か月程度である。
スーパー(商品開発担当)	・11月も、売上と来客数は良かったが粗利は厳しい状況が続いている。客足は若干戻りつつあるが、売上や粗利を伸ばす対策は見つからず、先行きもそれほど変わらない。
スーパー(販売担当)	・景気が今よりも良くなる材料は何もない。
スーパー(企画・経営担当)	・良くなる要素は全くない。
スーパー(ブロック長)	・米国大統領の交代により、為替、株価共に不透明な要素が多い。生鮮食品の相場もあまり良くない。
コンビニ(エリア担当)	・景気が良くなるような兆しを感じられない。
コンビニ(エリア担当)	・足元の状況と同様に、必要な物以外は購入しない傾向が当面は続く。
コンビニ(エリア担当)	・来客数の減少は続くが、客単価は横ばいから若干上昇する店も多く、これ以上悪くなることはない。しかし、良くなる材料が全く見当たらないので、しばらくは現状のままで変わらない。
コンビニ(店長)	・客の購買意欲が、特に改善する要素は見当たらない。無駄な物や余計な物は買わない消費行動が続く。
コンビニ(商品開発担当)	・しばらくは米国経済の動向に対する様子見が続く、早い時期の変化はない。
衣料品専門店(経営者)	・パーゲンになっても、一見客による購入が見込めず、売上は増えない。
衣料品専門店〔紳士服洋品〕(売場担当)	・1年ほど前から景気が良くないと感じていたが、一過性で、ずっと続くとは思っていなかった。今はリーマンショックの時よりも厳しい状況が続いている。これから年末年始商戦やバレンタイン商戦が続くが、景気が回復する要因は全く見当たらない。
乗用車販売店(営業担当)	・株価は上がっているが、景気が良くなる具体的な要因が見当たらない。
乗用車販売店(経営者)	・客の様子からは、おおよそ先が見通せて計画的に金を使えるようで、不安感が見受けられない。

乗用車販売店（従業員）	・客の希望車種と在庫車種がなかなかマッチングしない。新型車種ばかりに関心を向けさせず、冬のボーナスに合わせて早く納車できる車種を提案し、販売につなげたい。
乗用車販売店（従業員）	・新型車種の投入で期待感はあるが、新型車種が売れば他の車種が売れないというパターンは変わらず、前年同期並みの販売台数を維持するのがやっとである。
乗用車販売店（従業員）	・為替相場が今後どのように動くかわからない。
乗用車販売店（経理担当）	・新型車種への注目度によって販売量も変わってくるが、既存車種の落ち込みをどのくらいカバーできるかが重要である。
乗用車販売店（総務担当）	・新型車種の投入効果でやや販売量が伸びているように見えるが、効果は短く年明け早々には落ち着いてくる可能性もある。
住関連専門店（営業担当）	・建築工事では、民間、公共共に良い先と悪い先があってバラつきがみられる。改修工事、リフォーム工事や耐震工事等は、全般的に年末から来年3月まで忙しい状況が続く。
その他専門店〔雑貨〕（店員）	・年末年始の需要も一段落し、少し落ち着いた時期に入る。
その他専門店〔雑貨〕（店員）	・足元の状態が、年末年始に急変することはない。
一般レストラン（従業員）	・野菜の価格は相変わらず高く、財布のひもは固いままである。
スナック（経営者）	・店は昔からの繁華街にあり、まちが活性化しないと客層が限られるので、売上の伸びは期待はできない。
観光型ホテル（販売担当）	・年末年始の予約は、一般宴会等が例年どおりに受注できているが、それ以後については、現時点ではまだ見通しが立たない。
都市型ホテル（支配人）	・景気が変化するような材料がない。
都市型ホテル（経理担当）	・宴会・宿泊共に、前年同期並みの推移が続いている。
旅行代理店（経営者）	・店舗での販売が年々減少しており、ネットでの直販やネット会社を通しての販売が増加している。ネット販売手段のない会社では、この先一層状況が厳しくなる。
旅行代理店（経営者）	・年末年始に旅行をする人が最近では少なくなっている。3か月先も景気は良くなるらない。
旅行代理店（経営者）	・目先の客の動きは変わらない。シニア層の客は、長期的に旅行を計画していても、体調不良等で直前に中止するケースもあって対応に困る。
旅行代理店（経営者）	・先行き不安や高齢化の進展で、若者の旅行者が減り続ける。
タクシー運転手	・足元と変わらないような状況が、ずっと続く。
タクシー運転手	・現状と変わらないことを願うが、米国の大統領交代の影響は、良い方向になるのか悪い方向になるのか、あるいは変化がないのかわからない状況である。
タクシー運転手	・先行きも良い材料が見つからない。
通信会社（企画担当）	・年末に向けて多少は上向くが、世界も含めて先行き不透明な状況から、閉そく感は払拭できず、景気の回復はなかなか難しい。
通信会社（サービス担当）	・固定電話の必要性が薄れているので、固定電話の解約はこれからも続く。ネット回線も固定電話での契約は減っていく。
通信会社（営業担当）	・年齢層が高く生活に余裕がありそうな客にさえ、節約志向が見受けられる。景気は急には良くなるらない。
テーマパーク（職員）	・週末イベント等の参加状況や企画への予約状況をみると、現状からの大きな変化は見受けられない。
テーマパーク職員（総務担当）	・好転する材料がない。
その他レジャー〔スポーツレジャー紙〕（広告担当）	・世界情勢等で不透明な部分が多いが、極端に悪くなる要素も見当たらない。
美容室（経営者）	・年末は一時的に景気は良くなるが、年明けから2～3月には、少し悪い方向になっていく。
その他サービス〔介護サービス〕（職員）	・介護保険制度の改正では、福祉用具貸与事業への大きな影響は回避されたが、季節的な要因もあり業績は横ばいが見込まれる。
設計事務所（経営者）	・小規模案件が多くなっており、手間が増えているだけで、良い方向には向かっていない。

	住宅販売会社（従業員）	・足元ではあまり変化はないが、米国の大統領交代による影響で、先行きは円高になる可能性がある。変化があるとしたら、これからである。
	その他住宅〔室内装飾業〕（経営者）	・住宅の新築や店舗改装の工事等、先行きも既に受注が確定している。
	その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（経営者）	・年末が近付くと不動産を探す客足が鈍るので、年明け以降の動きに期待している。
	一般小売店〔書店〕（営業担当）	・年度末向けの受注が期待されるが、客先では予算の減少がみられる。
	百貨店（売場主任）	・ネットで買物をする客が増えている。来客しても、スマートフォンを見ながらサイズを確認する人が増えており、百貨店で買物をする客が減少している。
	百貨店（販売促進担当）	・インバウンドと高額商品の売上は減少し、ボリュームゾーンの売上は、やや持ち直しがみられる。
	百貨店（販売担当）	・クリスマスギフトの時期だが、低単価商品を中心に動いており、なかなか売上に繋がらない。
	スーパー（総務担当）	・販売計画と実際に売れる商品の内容が合わない。
	スーパー（人事担当）	・客は余分な物は買わない。
	コンビニ（企画担当）	・先行きが不透明なため、しばらくは悪くなる。
	コンビニ（店長）	・主な客先の業況が悪いいため、売上が減少している。新規客を獲得しないと売上の確保は見込めない。
	コンビニ（店長）	・近隣では複数のドラッグストアが新店を建設中で、競争が一層激しくなる。
	家電量販店（店員）	・理由は特にわからないが、来客数が段々減少している。
	乗用車販売店（経営者）	・米国や韓国等の海外情勢を始め、日本経済にも影響しそうな不安要素があり懸念される。
	乗用車販売店（従業員）	・米国の次期大統領には不安要素が多い。良い方向に転ぶかもしれないが、基本的には不安感が強い。東京都でも知事が替わってから東京オリンピックの問題等で混乱しており、様々な要因の影響等で悪い方向に向かうことが心配である。
	乗用車販売店（従業員）	・3月の決算期に向けて購買意欲は回復するかもしれないが、新規免許取得者による新車購入が減っており、先行きは不透明である。価格優先の傾向が顕著で、ネットで割安な中古車を探す客が増えており、しばらくは厳しい状況が続く。値段で決める客の取り込みが重要になる。
	乗用車販売店（販売担当）	・前月に全車種で車両本体価格を3%値上げし、駆け込み需要があった反動で来客数がかなり減少している。
	一般レストラン（経営者）	・良くなる要素が見当たらない。
	観光型ホテル（経営者）	・近隣に宴会場を持つ大きなホテルが開業し、客足が流れている。地元では自営業者が徐々に減っており、昼食・夕食等の利用者が減少傾向にあるため、年明け後も悪くなっていく見込みである。
	都市型ホテル（経営者）	・景気が良くなる要素が見当たらない。
	都市型ホテル（営業担当）	・製造業を中心に不透明感が強く、今後も利用実績は悪くなっていく。
	旅行代理店（経営者）	・年末に向けた動きは、今から良くなるとは考えにくい。客が動くとすれば、年明け以降と見込まれる。
	通信会社（営業担当）	・販売量は少しずつ減少傾向にあり、今後も減少が見込まれる。
	テーマパーク（職員）	・景気が不安定で、消費が落ち込む。
	観光名所（案内係）	・人の様子が生き生きしていない。
	パチンコ店（経営者）	・業界全体での客離れと低単価による薄利多売が続く。
	理美容室（経営者）	・客との話では、景気は良くなり給与も増えず、段々と悪くなる。
	美容室（経営者）	・地域の人口はどんどん減少し、景気は良くない。将来性が感じられない。
	美顔美容室（経営者）	・行事が増えて出費も増える時期になるので、売上に影響を受ける。
	設計事務所（職員）	・円安のおかげで何とか安定しているが、景気がこれから良くなるためには、様々な政策的な動きがないと難しい。
	住宅販売会社（従業員）	・12月は住宅業界では閑散期に入る。1月からに期待している。
	その他住宅〔住宅管理〕（経営者）	・受注はあるが、人件費、材料費が高騰しているため利益が少なく、まだまだ厳しい状況が続く。
×	商店街（代表者）	・年明けは商品の動きが悪くなる。
×	一般小売店〔酒類〕（経営者）	・消費者の普段の外出の減少には、好転させる特効薬が見つからない。

	x	衣料品専門店（販売企画担当）	・寒さも影響し、通常は動くはずの商品も動きが悪い。
	x	都市型ホテル（従業員）	・予約数から先行きは悪化が見込まれる。
	x	美容室（経営者）	・これから冬本番に向かい12月は忙しくなるが、やはり1～2月は来客数が減る。特に高齢者は、寒い時期は外出を控える。
	x	理容室（経営者）	・客は余分な支出はしない。まだまだ景気が回復するとは思えない。
	x	住宅販売会社（経営者）	・景気低迷の長期化が不安で、客がなかなか購入決定に至らない。
	x	住宅販売会社（従業員）	・注文住宅の受注が特に少ない。
企業 動向 関連  (東海)		一般機械器具製造業（経理担当）	・受注量は、以前から安定的に推移しているが、一層の増加が見込まれる。
		化学工業（人事担当）	・足元の基調は、米国の次期大統領が正式に就任するまでは続く。景気は徐々に良くなる傾向にあるが、具体的な政策によっては、景気が乱高下する可能性もある。
		窯業・土石製品製造業（社員）	・円安傾向にあるので、客先での受注量が増えて、消耗品の発注数も回復する。
		一般機械器具製造業（営業担当）	・米国の大統領選挙が終わり、米国自動車産業では設備投資計画が動き始める。また、一時期よりも円安になっている。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・現状のままであれば、業況は更に良くなる見込みである。
		電気機械器具製造業（企画担当）	・米国の経済政策に期待感があり、当面は横ばいから緩やかな上昇が見込まれる。輸出企業にとっては、円安基調への期待もある。
		輸送用機械器具製造業（経理担当）	・引き続き円安が進み、為替の恩恵を受けられる。出荷数も増加が見込まれているため、景気は若干上向き傾向といえる。
		金融業（法人営業担当）	・米国の大統領選後の円安を受けて、輸出のウェイトが高い地元メーカーを中心に業績改善が見込まれる。地域経済全体にプラスの効果が期待される。
		行政書士	・年末年始に向けて貨物の増加がある。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	・年末から年度末に向けては、納品が佳境の時期となることから、増員の話が途切れぬ。
		その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	・しばらくは円安が続き、我が国の経済は好転する。しかし、米国内への産業の回帰が本当に起きれば、我が国にも影響がある。
		食料品製造業（経営企画担当）	・9月までの好調から一転し、11月以降は受注量が伸び悩んでおり、12月以降も全く予断を許さない状況が続く。
		化学工業（総務秘書）	・この1年は円高で大企業の業績が悪くなかったが、米国の大統領選挙後は円安が進み、今後は少し持ち直す。大幅に良くなるとは思えないが、これから悪くなることはない。
		金属製品製造業（経営者）	・引き合い件数は足元と同水準で入っており、先行きもあまり変わらない。
		電気機械器具製造業（経営者）	・業界全体が悪い流れにあるなかで、新製品の開発等に注力し、何とか現状維持を目指す。
		輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	・周りには車を買換えた人もいれば、買換えを検討中の人もいる。
		輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	・先行きは悪くなく考えていたが、為替は円安で推移している。思ったほど悪くなることはなく、無難に推移する。
		建設業（経営者）	・米国の次期大統領の影響は、まだ不確定である。足元では上向きの要因として機能しているが、ささいなことでも下向きに変わるかわからない。乱気流のなかに経済が置かれている。
		輸送業（経営者）	・例年ほど年末に向けての物量が増えない。引き続きこのままの低調な動きが見込まれる。
		輸送業（従業員）	・先行きへの不安で購買意欲が低い。一時的な傾向ではなく、今後も大きくは変わらない。業界としては、トラック燃料の軽油価格が落ち着いていることが、せめてもの救いである。
	輸送業（エリア担当）	・為替が安定しないので、荷主は様子見の状況である。	
	輸送業（エリア担当）	・主要荷主からは明るい話が聞こえてこない。	
	通信会社（法人営業担当）	・足元では円安、株高という好条件にあるが、とても景気が上向きとはいえない。飲食店の経営者の話では、前年に比べると安価な商品の注文が増え、来客数も減少傾向にある。世間の消費行動は経済の実態をはっきりと反映している。	
	金融業（従業員）	・足元の業況は、業種によってばらつきや格差が大きいが、先行きはなかなか見通しが立たない。建設業に限っては、数か月先まで仕事が埋まっているという話を聞いている。	

	金融業（企画担当）	・個人投資家に動きが出れば、消費にもつながっていく。最近の株高、円安が急激すぎると感じる個人投資家は、いったん様子見をしており、先行きには依然不透明感がある。
	不動産業（経営者）	・米国の大統領選挙に伴う混乱はあまりないが、実態経済への影響は、これからである。
	不動産業（用地仕入）	・景気の動きを左右する要因が見当たらない。
	広告代理店（制作担当）	・年明けの受注予定量は前年同期と変わらず、横ばいが続く。現状維持であれば良い方である。
	公認会計士	・中小企業の収益性と価格転嫁の課題が改善するような傾向はみられない。金融庁の銀行に対する行政方針が浸透すれば、中小企業には明るい材料となる。
	会計事務所（職員）	・米国の次期大統領のTPP離脱宣言で、一部の業者には安ど感がうかがえるが、農業に限らずどの業種でも、国際競争を意識しなくては成長しない。先行きは輸出業者の落ち込みが懸念される。
	会計事務所（社会保険労務士）	・法人相手の事業所は好調だが、個人向けの事業所では売上が減少している。ボーナスの時期となるが、どの程度消費に回るかは不透明である。
	食料品製造業（営業担当）	・年末の一時金等が増えなければ、消費の拡大にはつながらない。
	パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	・足元の景気は良かったが、2～3か月先は年末商戦も終わり、景気はやや下降する。
	印刷業（営業担当）	・業種によって良いところと悪いところの差が大きい。中小企業に関しては、全般的に景気回復の恩恵は受けていない。
	化学工業（営業）	・中国の旧正月の影響で、3か月後は若干需要が減少する見込みである。
	鉄鋼業（経営者）	・受注量、販売量共に回復の要因に欠ける。人手を募集しても応募が少なく欠員が充足できないため、多少回復しても、すぐには対応ができない。
	金属製品製造業（従業員）	・物件の動きが思ったより鈍かったり遅れているなかで、原材料価格の高騰が収益を圧迫する。
	電気機械器具製造業（経営者）	・受注量の調整が頻繁に行われており、先行きは若干減少する方向となっている。
	輸送用機械器具製造業（デザイン担当）	・不安定な世界情勢で、ここ最近、客がコストを非常に気にするようになってきている。物が売れていないということで、景気は悪くなっている。
	輸送業（エリア担当）	・トラックで運ぶ1件当たりの量が減少しており、それだけ世の中の荷物量が減っている。段々と小口化し、経済が萎んでいる。今後まだまだ景気は下降していく。
	輸送業（エリア担当）	・パート人件費が上昇し、経費が増えている。荷物の量は増加しているが、配送単価が安いいため、増収減益である。
	通信会社（法人営業担当）	・高齢者層は政治への不安や不信で買い控え、迎春ムードも盛り上がり欠ける。消費全般に伸び悩みのムードを感じる。
	新聞販売店〔広告〕（店主）	・新聞の購読者が減少している。
	× 出版・印刷・同関連産業（代表）	・限られたパイの奪い合いが更に激しくなる。コストは変わらないので、利益の確保が難しくなっている。
雇用 関連 (東海)	-	-
	人材派遣会社（社員）	・ターミナル駅地区では新ビルへのオフィス入居が続いている。商業施設も今後オープン予定であるほか、同様の新規ビル開発が他にもある。
	人材派遣会社（支店長）	・派遣契約の受注では、約6割で派遣社員が交代するが、最近では、交代を伴う受注契約が増えている。2018年度には労働者契約法改正から5年となり、企業の人材構成計画の見直し等が進んでいる可能性がある。今後も受注件数は堅調に推移する。
	人材派遣会社（営業担当）	・年度末となって予算消化の駆け込み需要が多くなり、一時的には活況が見込まれる。長期的には、自動車関連企業による選択と集中で、車載関連業種では好況は続くが、それ以外は尻つぼみになる。
	人材派遣会社（営業担当）	・各社で来年度の人員費予算が決まり始めているが、多くの企業では今年以上に確保しているため、新卒者採用のみならず、派遣や中途採用の求人も伸びる。
	アウトソーシング企業（エリア担当）	・決算期に向けて新車販売台数が増加し、生産量の拡大を見込んでいる。
	職業安定所（所長）	・足元の景況感は決して良いとはいえないが、最近はやや円安となっており、この流れが続けば、一部の企業では輸出に伴う収益の改善が期待される。
	職業安定所（職員）	・懸念材料であった為替相場も大幅な円安となり、輸出企業の景況感も改善する。

	民間職業紹介機関（営業担当）	・4月入社を想定して、これから採用決定者数も徐々に上向きとなる。
	人材派遣会社（社員）	・足元も良かったが、年末年始の派遣スタッフの予約状況も好調である。
	人材派遣会社（営業担当）	・米国の大統領選挙の結果が、今後どのように経済に影響するかが見通せない。
	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・米国の次期大統領により、我が国でも一部の業界では上向きになることが期待されるが、全体的には大きな変化にはつながらない。
	職業安定所（職員）	・有効求人倍率は前年同月比で上昇しており、特に中小企業からは人手不足の声も多く聞かれるが、依然として、先行きを不安視する声も聞かれる。
	職業安定所（職員）	・当地域では、長く続いてきた円高と生産拠点の海外移転等に伴い、製造業の求人が減少している。現在の円安も一時的なものと考えられるため、今後もそれほど良くなるとは考えられない。
	民間職業紹介機関（窓口担当）	・派遣スタッフの長期継続年数の制限と社会保険加入条件の変更もあり、今後も求職者の増加は厳しい見込みである。
	学校〔専門学校〕（就職担当）	・前年は追加的に随時行われていた企業のインターンシップ募集も、今年は定期的な実施となり、目新しい変化は特にない。
	人材派遣会社（社員）	・求人に対してマッチングできる人材が相変わらず不足しており、求人企業では中途採用が計画どおり進んでいない。
	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・年末年始から春には多数のイベントがある。ここで回復の兆しがないと、この先も足元と同じような状況が続く。雇用確保や待遇改善が先決かもしれないが、安心して金を使える環境にならなければ、絶対に景気は回復しない。
	民間職業紹介機関（支社長）	・米国経済の動きが不透明であるため、積極的に動く会社が減って、様子見になるという声をよく聞く。
	x	-